

暖房器具などによるやけどに注意！

本格的な寒さとなり、暖房器具や加湿器によるやけどの事故が増える季節です。子どもやお年寄りには皮膚が薄く、やけどの症状が皮膚の奥深くまで影響し重傷となるおそれがあります。暖房器具や加湿器を使用する時は、以下を参考にやけどの事故を防ぎましょう。

【事故を防ぐためのポイント】

- ・ 床に置くタイプの暖房器具や加湿器は、子どもの手が届かない場所に設置するか、安全柵などで囲みましょう。
- ・ 暖房器具に直接触れなくても温風が当たり続けてやけどをすることがあります。十分に距離をとり、長時間当たり続けないようにしましょう。
- ・ 湯たんぽや電気カーペットなどは、長時間皮膚が同じ場所に触れて低温やけどをすることがあるので、長時間使用しないようにしましょう。
- ・ 加湿器から出る蒸気に触れたり、加湿器を倒して熱湯を浴びたりしてやけどをすることがあります。購入する場合は、高温蒸気への対策機能が付いている製品や転倒しても熱湯がこぼれにくい製品の購入を積極的に検討しましょう。

困った時は、清須市消費生活センター、または消費者ホットライン電話番号「188」までご相談ください。

